

疾患名 非ホジキンリンパ腫

No.301

プロトコール名 A+CHP(CPA+ADM+PSL)

- 進行・再発 術後補助化学療法 術前補助化学療法 維持療法
 未治療 再発・再燃・難治 寛解導入 地固め
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ドキシソルビシン(アドリアシン・ADM)	50mg/m ²	div	60分	d1
2	シクロホスファミド(エンドキサン・CPA)	750mg/m ²	div	60分	d1
3	ブレンツキシマブ ペドチン (アドセトリス・A)	1.8mg/kg	div	30分	d1
4	プレドニゾン(プレドニン・PSL)	100mg/body	d1:div d2-5:po	分2 朝, 昼	d1- 5

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	8コース
コース間での休薬の規定	好中球減少症<1000/mm ³

減量規定・中止基準	* 減量基準 A: 1.2mg/kg (67%) ・末梢神経障害: 運動G2、感覚G3 ADM、CPA参考(R-CHOPやmini R-CHOP参考) 80歳以上でADM(25%)、CPA(53%)を減量を考慮 G4の好中球減少、G3の血小板減少: 50%に減量 * 中止基準 A: ・末梢神経障害: 運動G3、感覚G4
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	d1 ADM → CPA → A
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション d1: パロノセトロン0.75mg+アロカリス235mg+プレドニン注100mg

患者条件(初回条件)

※CTCAE v5.0

- ・CD30陽性のPTCL
- ・PS 0~2
- ・75歳未満
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・ペントスタチンまたはブレオマイシンを投与中の患者
- ・本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・心機能異常又はその既往歴のある患者
- ・重症感染症を合併している患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

- A
- ・重度の腎機能障害患者(クレアチニンクリアランス値<30mL/min)では血中濃度上昇の可能性あり
 - ・最終濃度が0.4~1.2mg/mL

- ・投与前後には、ラインを生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液でフラッシュ
 - ・Infusion reactionが2回目以降にも起こることがあるため注意(アセトアミノフェン、抗ヒスタミン、副腎皮質ホルモン)
 - ・中等度及び重度の肝機能障害(Child-Pugh分類 B及びC)を有する患者に対して本剤を投与後に真菌感染症により死亡に至った例が報告
- ADM
- ・アントラサイクリン系薬剤未治療例で、アドリアシンの総投与量が $500\text{mg}/\text{m}^2$ を超えると重篤な心筋障害を起こすことが多くなるので注意すること
- その他
- ・FNの発現頻度18%で、G-CSF考慮